



☀ モササウルス類の化石に関する記者発表

これまで北米で3例しか見つかっていなかった「セルマサウルス」と考えられるモササウルス類（恐竜時代の巨大な海生トカゲ）が下甌島・鹿島町で発見され、発見者の三宅優佳先生（兵庫県立人と自然の博物館）やモササウルス類の専門家・小西卓哉先生（アメリカ・シンシナティ大学）を招いて記者発表を行いました（写真1）。現在、甌ミュージアム2階でこの化石の特設展示を行っています。



写真1 「セルマサウルス」の発見とその重要性に関する記者発表。

☀ 集中発掘調査と発掘体験を行いました

8月上旬に小松俊文先生（熊本大学）をはじめとする24名の研究者や学生が来島され、夏の集中発掘調査を行いました。甌島各地で調査を行い、100個ほどの貴重な化石が得られました。

さらに、7月26日と8月9日には発掘体験を行いました。8月9日の発掘体験には小松先生らも参加し、現地指導を行いました（写真2）。



写真2 8月9日の化石発掘体験会。左端が小松先生（熊本大学・教授）。

☀ 化石プログラムを行いました

7月の化石プログラムでは、自由研究などでも活用できるスケール（標本撮影などに使う物差し）の作成を行いました（写真3）。

8月の化石プログラムでは、北海道産のアンモナイト化石を用いた「クリーニング」（岩を削って化石を取り出す作業）の体験を行いました（写真4）。



写真3 スケール作り。好きな恐竜のイラストを貼ってオリジナルのスケールを作成。

☀ 受付係に橋野久治さんが就任しました

4月1日から甌ミュージアムの受付係になりました橋野久治です。4年前に薩摩川内市鹿島支所を定年し、4年ぶりに甌ミュージアムに帰ってきました。入館して下さるお客様に笑顔で対応して、お客様が楽しんでお帰りになれば幸いです。

☀ 甌島のタゴガエルの情報を募集しています

カエル研究者の方がタゴガエル（秋頃に岩の隙間や地面で鳴く小さなカエル）の情報を探しています。お心当たりの方は博物館までご連絡ください。



写真4 化石クリーニング体験会。島内外から親子連れが参加。